

第2回追い越し実験振り返り

■実施日：6月22日、23日

■実績

- ・ ツアー数 6月22日：18ツアー、6月23日：14ツアー
- ・ 追い越し事例：1件
6月22日、佐々木さん（9:20発）→八木さん（9:10発）

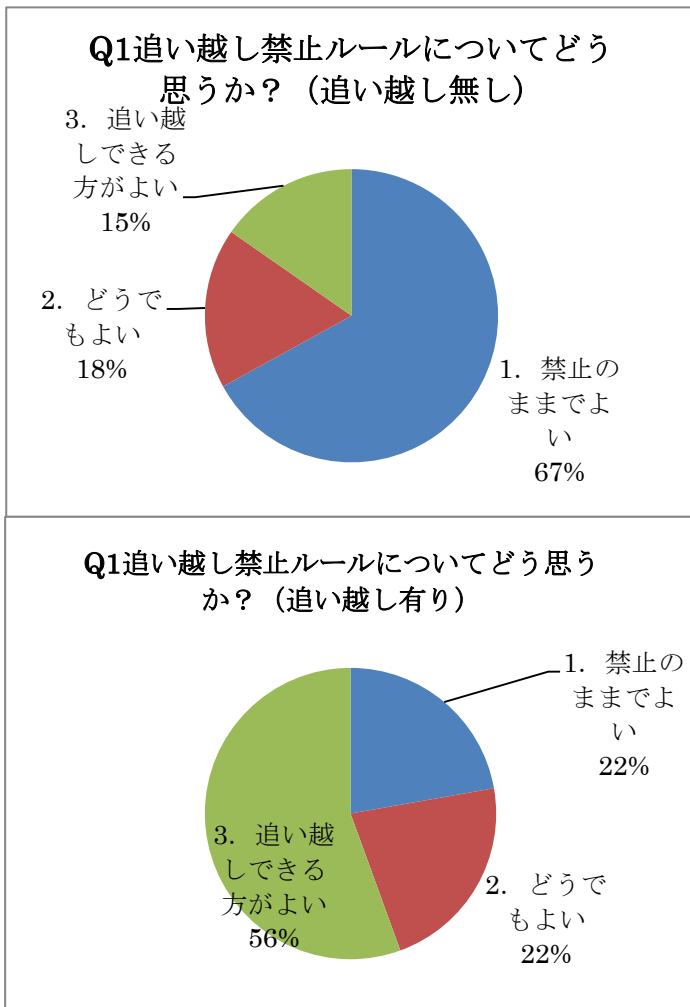
■ガイドアンケート結果

追い越された八木さん：「追い越される、追い越す場合、ある程度離れているときは無線で話しかけてもいいかもしれない。」

追い越した佐々木さん：「一時的にペースを上げるなど、調整がないと抜かしにくかった。雰囲気をごわさないためには、あまり迫りたくないの、ガイド間で互いにより気をつかえなければならない」

■参加者アンケート結果

Q1 参加者は追い越し禁止ルールについてどう思っているか？

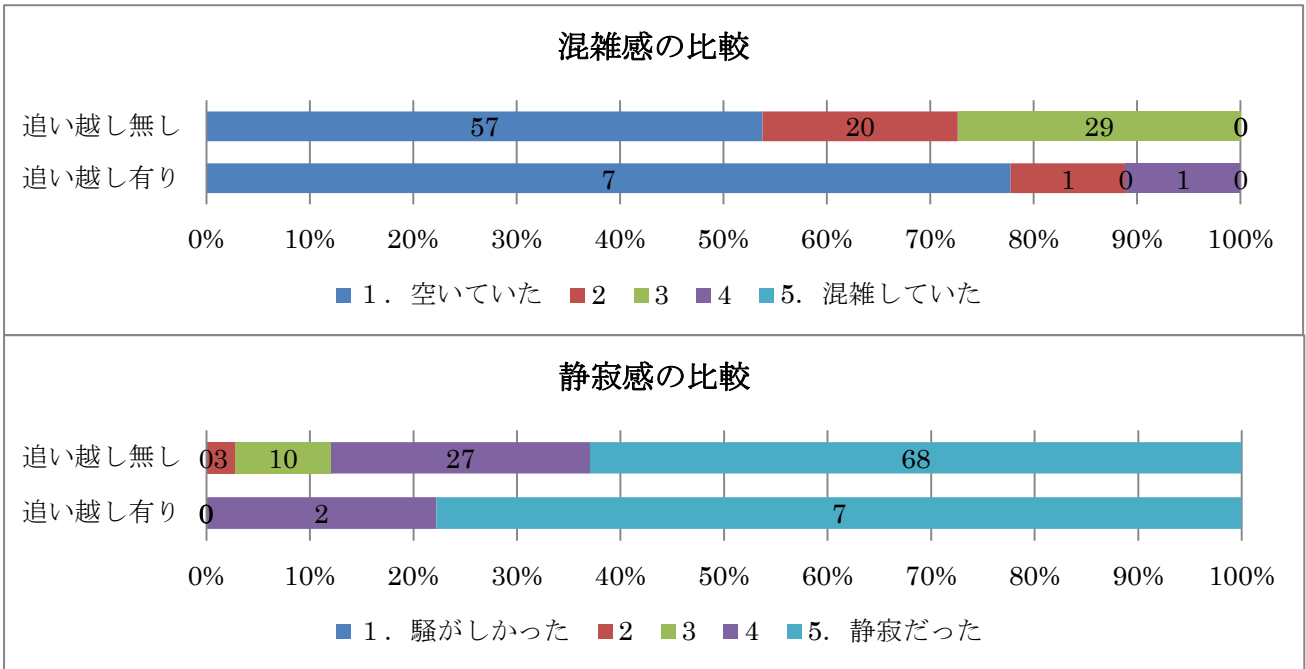


追い越しをしなかったグループの約7割は「追い越し禁止のままでよい」と答えているのに対し、追い越しがあったグループでは、約6割が「追い越してできる方がよい」と答えている。

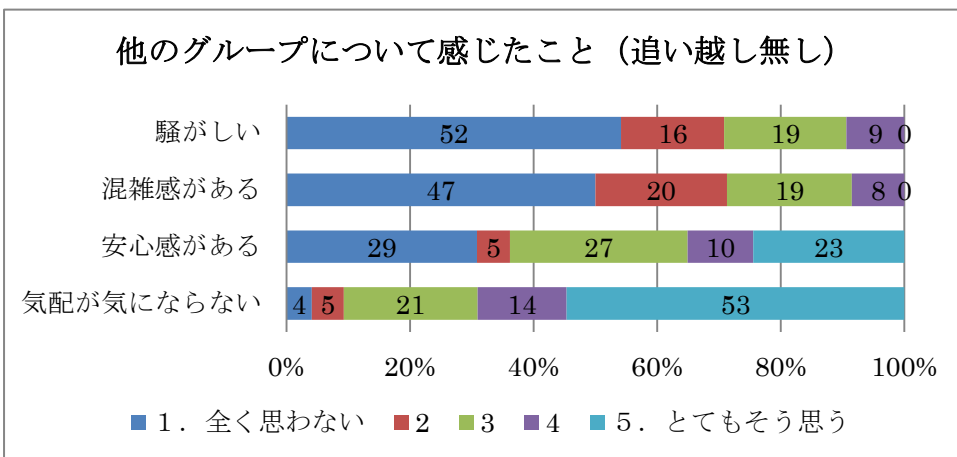
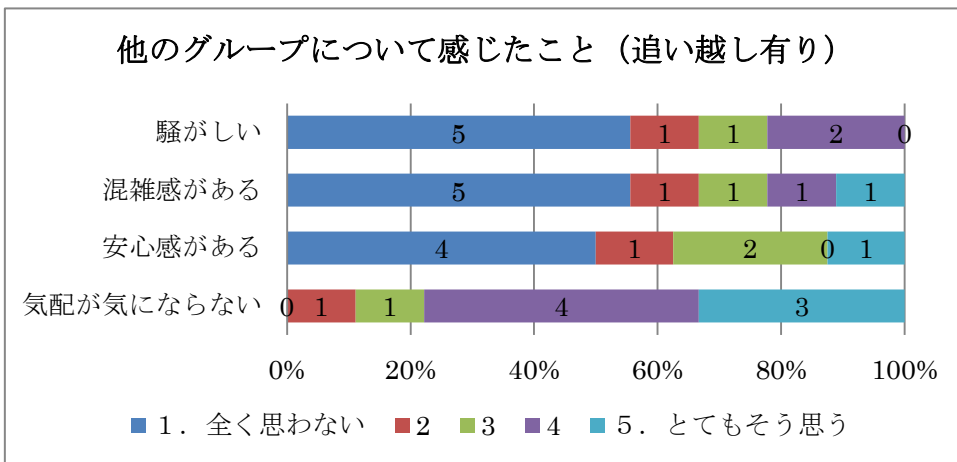
「追い越し禁止のままでよい」と答えた人の理由には、「他人を気にしないで歩ける」、「落ちついて歩ける」、「他のグループが接近すると騒がしい」などの意見があげられている。

また、「追い越してできる方がよい」と答えた人の理由は、「各々のペースで歩くことができる」、「グループによって出会う動植物が違うのでペースが異なる」、「ゆっくり楽しみたい人や早めに歩きたい人がいる」などとなっている。

Q2 追い越しによって体験の質が低下したか？

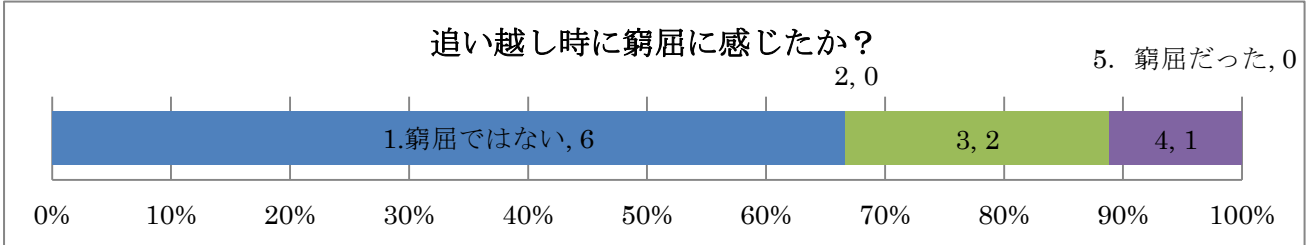


追い越しの有無は、混雑感や静寂感に無関係であることが分かる。他のグループについて感じたことも、追い越しの有無がほとんど関係ない。「気配が気にならない」の項目で「5とてもそう思う」が下がり、「4. そう思う」が増えているが、アンケート件数が少ないため、はっきりとした傾向かどうか不明である。

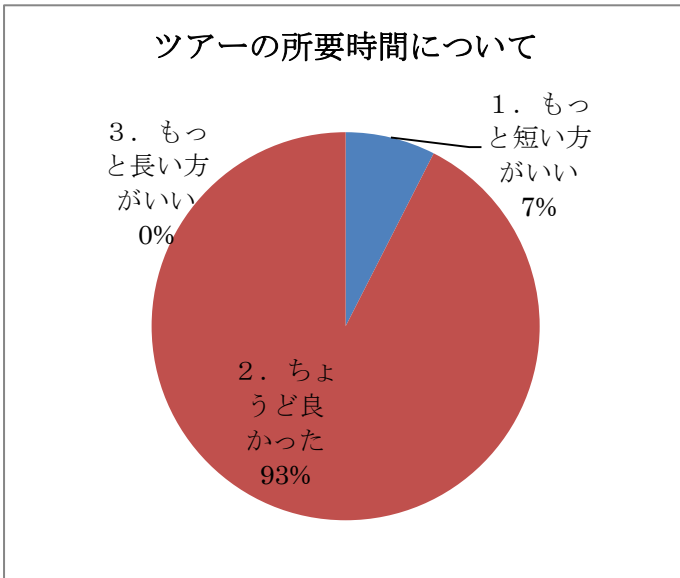


Q3 追い越しはストレスになるか？

追い越しはガイドにとってストレスになる場合があることが、ガイド向けアンケートから明らかとなったが、参加者にとってどうかという視点の方がむしろ重要である。今回は1例しかなく、スムーズに追い越しができたと思われるため、「窮屈ではない」という回答が多かった。



Q4 ツアー所要時間に関して



「ちょうど良い」という意見が9割以上であった反面、「もっと短い方がいい」という意見もあった。トイレが近い人や、老人、子供などには3時間座って休む場所もなく歩き続けることは苦痛になるかもしれない。「3時間もトイレなしで歩く」と聞いて参加をあきらめた人も多数いると想像されるが、そのような人の意見はこのアンケートには汲み入れられていない。

「追い越し可」にしておけば、通常のツアー時間を2時間半としておき、お客様の様子を見ながら延長して3時間にしたり、4時間にしたり

という運用もできるので、様々な要求に応えられるようになるだろう。